

## 京都人はビール好き？

毎日暑い日が続きますね。ビールで暑気払いをされている方もいるのではないのでしょうか。

総務省の家計調査（二人以上の世帯）都道府県庁所在地及び政令指定都市別ランキング（平成20～22年平均）によると、ビールについては1世帯当たり年間の支出金額、購入数量とも京都市が1位となっています（表1）。

やはり夏に多く飲まれているのでしょうか。月別の支出金額を見てみましょう。図1は同じく家計調査のデータからビールへの1世帯当たりの支出金額（平成20～22年平均）をグラフにしたものです。8月を除くすべての月で京都市が全国を上回っています。また、京都市、全国とも夏と12月が多いことがわかります。特に京都市では7月のピークが大きくなっています。

別の統計からも見てみましょう。国税庁の資料から京都府における酒類販売（消費）数量等の推移を見てみると、ここ10年で酒類全体の販売（消費量）が減少傾向にあることがわかります。中でも、ビールは平成12年度は約12万キロリットルであったのに対し、21年度は約6.6万キロリットルと半減しています。また、発泡酒は15年度頃までは増加していましたが、その後、減少傾向にあります。それに対し、近年はリキュール（缶チューハイ、いわゆる第3のビールの一部等）が増加しています（図2）。

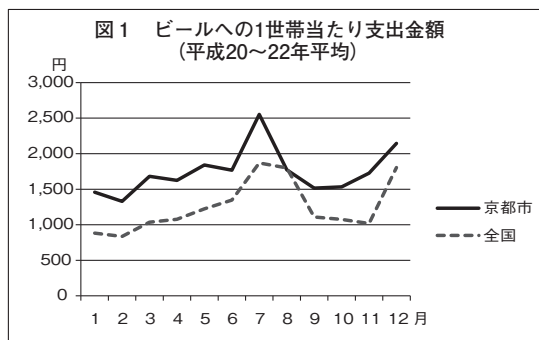
同じ資料から成人1人当たりのビール販売（消費）数量を見ると、近年差は縮まりつつありますが、ここでも京都府は全国平均を上回っています（図3）。やはり京都の人はビール好きと言えるのではないのでしょうか。

飲み過ぎには十分注意して、暑い夏を乗り切ってください。

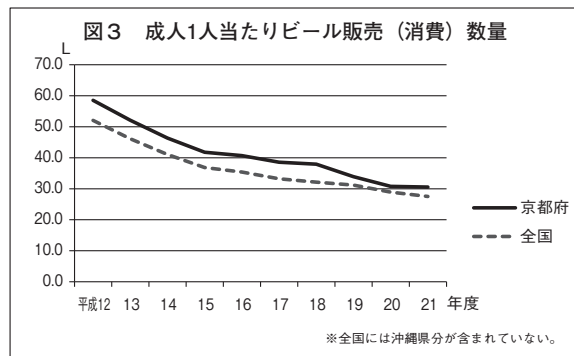
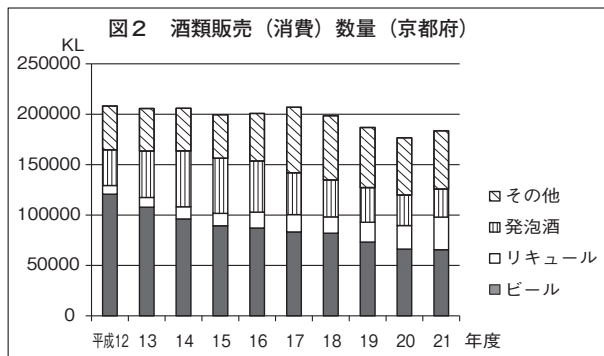
表1 ビールへの1世帯当たり年間支出金額及び購入数量（平成20～22年平均）

		金額 (円)			数量 (L)
全国		15,080	全国		28.79
1位	京都市	20,947	1位	京都市	38.79
2位	札幌市	19,271	2位	札幌市	37.77
3位	金沢市	17,861	3位	金沢市	34.65
4位	福井市	17,790	4位	秋田市	33.85
5位	秋田市	17,376	5位	福井市	33.68

資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」



資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」



※全国には沖縄県分が含まれていない。

資料：国税庁「税務統計—酒税関係—」